

日本文学演習

4 units (selection) 3rd-year(2nd semester), 4th-year(2nd semester)

Tetsuya Noguchi / NARUTO UNIVERSITY OF EDUCATION

Target) 映画や小説を読み解く作業を通じ、応用可能な文化研究および近代文学研究の基礎を身につけてもらうことを目的とする。

Outline) 夢や異界・非日常に関わる近現代の文学作品をとりあげ、それらを原作とした映画とも比較しながら分析・考察を加える。毎回担当者を決めて研究発表を行い、それに基づいて全員で討議を行う。

Keyword) *literature*

Fundamental Lecture) “日本文学研究Ⅰ”(1.0)

Relational Lecture) “日本文学講読Ⅲ”(0.5)

Notice) 発表者以外もあらかじめ各作品を熟読して臨み、活発な議論の場を作るよう心がけること。取り上げる作品や発表担当の回数については、受講者の人数や関心の所在を確かめたうえで調整することがある。

Goal)

1. 文化研究、近代文学研究の基礎を身につける。
2. 映画や文学についての知識を深める。

Schedule)

1. 映画と文学についてのガイダンスと担当者決定。以下の作品について担当者を決めて発表してもらう。テキストは変更もあり得る。
2. テーマ設定、調査方法、発表方法概論
3. 図書館の使い方、文献資料探索実習
4. 江戸川乱歩「押絵と旅する男」
5. 宮沢賢治「風の又三郎」
6. 川端康成「狂った一頁」
7. 坂口安吾「白痴」
8. 坂口安吾「桜の森の満開の下」
9. 福永武彦「廃市」
10. 安部公房「砂の女」
11. 三島由紀夫「金閣寺」
12. 三島由紀夫「憂国」
13. 大江健三郎「飼育」
14. 村上春樹「風の歌を聴け」
15. 村上春樹「ノルウェイの森」
16. レポート

Evaluation Criteria) 発表内容、討議への参加度、レポート、出席状況等により総合的に評価する。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) 教科書は使わない。文庫本などで入手しにくく図書館にもない小説については教材プリントを配布するが、手軽に買えるものは購入すること(最初に指示する)。参考書は適宜指示する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221460>

Contact)

⇒ Noguchi (noguchi@naruto-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 授業直後の時間帯)